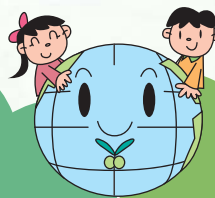


びわこ地球市民の森

森づくりサポーターニュース

平成27年(2015) 3月30日発行



Vol.52

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>



びわこ地球市民の森と今後の利・活用



「びわこ地球市民の森」づくりは、“未来の子どもたちのために森をつくりましょう”を目標に、2001年の「滋賀県植樹祭」からスタートしました。“市民との協働”で、2014年には16万本余の苗木植樹を終え、今日では、森づくりサポーターによる育樹作業とともに森の利・活用も始まっています。

子どもたちが、夢中になって、10メートル近くに育ったクヌギからドングリを拾い集め、間伐材を利用したクラフトや椎茸づくりには大勢のサポーターさんが参加しています。また、一昨年に開設した新しい「森づくりセンター」では、小学校の自然教室や「県民森づくり講座」の開催、地域行事にも活用されています。

これから、木々が育ち、自然の森の姿に近づいてくるとともに、一層の利・活用が求められます。森づくりセンターは、都市部にあっての身近な自然との接点（ビジターセンター）としての機能の拡充を。地域の自然再生を試み、里山と水辺環境を組み合わせた多様な動植物の存在は、自然学習フィールドとして期待されています。また、市民にとっては、林間のウォーキングや芝生地でのレクリエーションなど健康づくりも大切な役割です。

今後は、育樹活動の継続とともに、幅広く利・活用を進めていくことが大事です。そして、未来の子どもたちのためにも、『「びわこ地球市民の森」づくり宣言』に掲げられた「～自ら森をつくる努力をし、かけがえのない地球をしっかりと未来に引きつがなければなりません～」への取り組みを目指していきます。

皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



速野小マラソン大会



ひなぎく子ども園ドングリ拾い

早春の森づくりサポーター活動

平成26年度最後の森づくりサポーター活動を平成27年3月7日（土）に実施しました。今にも雨が降りそうな曇り空でしたが、森づくりサポーターなど78名、ガールスカウト14名の合計92名と多くの参加者がありました。



大人のみなさんは、里の森ゾーンの2009年植栽地1,000㎡でつる切り・枝落とし・間伐をしました。数年間手入れがなされていない地域だったため、植栽木にクズが巻き付き手間のかかる作業でしたが、すっきり森がきれいになりました。また、刈り取ったクズのつるを利用して、希望者にはツル籠を編んでももらいました。

ガールスカウトのみなさんは、「春をさがそう」をテーマにした自然教室で、春の童謡3曲を参考に散策し、森の春の様子を探して文や絵にしました。その後、クヌギ、コナラなどの間伐木にシイタケ菌を打ち込み、シイタケほだ木をつくりました。

作業後は、森のシイタケなどがたっぷり入った具だくさんの「森なべ」をみんなでいただきました。大人も子供もおかわり続出でおいしかったです。全ての作業が終わってから雨が降り出し、天気も活動に味方をしてきているようでした。



森づくり活動団体の情報交換会を開催

「びわこ地球市民の森」で定期的（毎月一回など）にボランティア活動をされている森づくり活動団体7団体（ふくの会、さんまる会、みいの会フォレスト、32期園芸、レイカ33会、しんゆう、森楽）の代表者が集まり、初の情報交換会を開催しました。



参加した団体は、滋賀県レイカディア大学草津校園芸学科の卒業生が大部分ですが、それぞれに活動日が異なるため、今までお互い情報交換する機会がなく、今回、森づくりセンターの呼びかけに応じられたものです。

参加者から、各団体の活動状況が紹介されるとともに森を良くするためのさまざまな意見や提言が寄せられ、有意義な情報交換会となりました。

【参加者の主な意見・提言など】

- 定期的に森へ行き、仲間と出会い、共に作業することが楽しい。長く続けているので森に愛着ができ、活動が継続できている。
- 現在の五つのゾーン（出会い、里の森、ふれあい、つどい、ふるさと）名だけでは、森が広すぎるので、さらに分けて地番など付け、森のなかでの位置が分かると良い。
- 現在地と散策コース、ジョギングコースなどを示した森の案内表示板を各ゾーンごとにいくつも設置するなど看板の整備が必要だ。
- 外部から森へ入る案内看板や道路標識なども充実したい。
- 旧森づくりセンターが使われなくなったので、その活用を考えたい。
- 今後、間伐でシイタケの原木がどんどん出てくるので、販売など検討して、ボランティア活動の経費の一部にしてはどうか。
- 遊具ができ、小さな子供やお母さんなどが大勢来るようになったので、その人たちを森に呼ぶ工夫（森の観察会、クラフトづくり、シイタケ試食会、森の歩道整備など）をすると良い。
- 多くの市民にもっと森に入ってもらうためにも我々の森づくり活動を継続し、森の手入れをさらに進めることが大切だ。 等々

森づくり トピックス

「早春の森の様子」



3月6日の啓蟄を経て、7日は第4回サポーター活動があり、ガールスカウトの皆さんと森づくりセンターからふれあいゾーンを楽しみながら回ってきました。春の代名詞のツクシが顔を出し、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウが満開で、水辺には春の七草のセリが摘みごろ、食べごろでした。アセビの花はもう少し先ですが、ネコヤナギは白い猫のしっぽのような雄花穂から雄しべが顔を出していました。水路ではマガモやカルガモと、カンムリカイツブリも泳いでいました。春はすぐそこにきています。



ネコヤナギの雄しべ



ヤマハンノキのたねさがし

お知らせ

—— びわこ地球市民の森のつどい 2015 について ——

これまで、1年の内で最大の植樹活動として「びわこ地球市民の森のつどい」を実施してきました。来年度は再び春に戻し、5月24日（日）に、植樹活動に代わる新しい試みとして『自然とふれあいウォーク』を皆様にお楽しみいただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

—— 平成 27 年度森づくりサポーター活動の計画 ——

平成27年 5月24日（日）	びわこ地球市民の森のつどい2015
平成27年 7月25日（土）	植栽地の育樹活動と自然学習など
平成27年10月11日（日） 予定	植栽地の育樹活動と自然学習など
平成28年 3月 5日（土）	植栽地の育樹活動とシイタケの菌打ちなど

編集 後記

公園北側の「ふるさとゾーン」11.5haの工事が終わり、今年4月から森の公園としてオープンします。

竹林と昔からのエノキ、ムクノキ、ヤブニッケイなどの大木がたくさん残っています。

体験や学習の場として、今後活用できますので、お楽しみに。

森の植栽状況 2015.3現在

植 栽 面 積	80,808 m ²
参 加 者 数	45,994 人
植 栽 本 数	160,967 本
つどいのゾーン	23,666 本
ふれあいゾーン	40,460 本
出合いのゾーン	21,158 本
里の森ゾーン	75,683 本